



避難経路を整備する生徒たち

蘇南高校の3年生がこのほど、災害時に同校へ身を寄せる南木曽町沼田地区の住民のために避難路を整備した。危険な沢を避けるルートで、山道に危険な場所を示すためのロープを張つたり目印を流した。

川美沙希さん(18)と戸前憧吾さん(17)、澤渡史也さん(18)の3人。

総合的な探究の時間の授業で、「災害の少ない街づくり」をテーマに学びを重ねている。学校近くには、過去に土石流が発生し犠牲者が出ていた沢がある。沢を通り抜けたりする作業に汗をかいた。(富田昇永)

# 生徒が避難路整備に汗

## 沼田の住民用 災害備え

### 蘇南高

整備した生徒は、古ることを知り、その道を避難路として整備することになった。

山道は学校へ続く近

道の一方、急坂や転びやすそうな場所が続

んだくいにロープを渡し、避難者が迷い込まないようにしたりと、

住民の安全確保のための道づくりに取り組ん